

# TOKYO働き方改革宣言

業務時間の短縮化と積極的な休暇取得を推進して、  
ワークライフバランスを実現します。

平成29年3月31日

株式会社トライアルエラー

## 目標

《働き方の改善》権限移譲の推進。作業・業務分析を進め分業制度を実施し業務を細分化することにより時間効率や効果を最大限に引き出し、誰でもできる単純作業化、業務体制をすることで業務時間を短縮します。

《休み方の改善》シフト制の実施。必要な時に必要な休みや長期休みが取得できるよう業務責任の委譲や人員配置を行なえる環境を作ります。

## 取組内容

《働き方の改善》社員でなくてもできる作業を抽出し、パートアルバイトに委譲することで優秀な人材の採用及び適正配置の促進を目指し、現場作業に於いては慣例として行われている業務をやめるべき業務・やるべき業務と選別する。業務をパートアルバイトに委譲することで効率化を図れるとともに社員の負担の軽減を得られるよう雇用を促進する。

《休み方の改善》完全週休2日の徹底、長期休暇の取得の実施（夏休み・年末年始・産休・育休）。パートアルバイトを適材適所に配置することで社員も休みがとりやすい環境整備を整える。社員の休暇取得促進とパートアルバイトの雇用の促進を図ることで気兼ねなく休暇を取得できる環境を整備していく。